

## コロンビア月例報告（6月分）

### 内政・外交状況

2017年8月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : [info@ba.mofa.go.jp](mailto:info@ba.mofa.go.jp)

#### I 概要

##### 【内政】

- 5日 FARC政党に対する交付金額の発表
- 6日 ブエナVENTOURAにおけるストライキの終了
- 12日 恩赦法による最初の恩赦の実施
- 16日 教職員によるストライキの終了
- 17日 ボゴタ市内における爆弾テロ事件の発生
- 25日 遊覧船の沈没
- 29日 大統領支持率の発表
- 30日 ELNとの和平交渉第2ラウンドの終了

##### 【外交】

- 2日 オルギン外相及びラコトゥール商工観光相の太平洋同盟閣僚会合参加（於：メキシコ）
- 14～15日 オルギン外相及びティモチェンコFARC最高司令官のノルウェー訪問
- 16日 オルギン外相のアゼルバイジャン訪問
- 18日 サントス大統領のポルトガル訪問中止の発表
- 21～23日 サントス大統領のフランス訪問
- 27日 ビショップ・オーストラリア外相の当国訪問
- 29日 太平洋同盟閣僚会合及びオブザーバー諸国との閣僚級会合の開催（於：当国カリ）
- 30日 第12回太平洋同盟サミットの開催（於：当国カリ）

#### II 本文

##### 【内政】

##### 1 FARC政党に対する交付金額の発表

5日、全国選挙評議会は、FARCから結成される政党に対して35億6500万ペソ（約120万ドル）を交付予定である旨発表した。

## 2 ブエナVENTOURAにおけるストライキの終了

6日、バジェ・デル・カウカ県ブエナVENTOURAにおけるストライキが終了し、1兆5千億ペソ（約5億ドル）の投資や基金の創設等が政府により約束された。

## 3 恩赦法による最初の恩赦の実施

12日、FARCから結成予定の政党の幹部の護衛を担当するための警備訓練を受ける予定の305人のFARC兵が、昨年12月の恩赦法を適用される最初のゲリラとなり、恩赦された。この恩赦は、裁判所による決定ではなく、大統領の決定により実施された。

## 4 教職員によるストライキの終了

16日、教職員及び教育省との間で合意に至り、教職員によるストライキが終了した。合意内容には、未実現の給与増を特別ボーナスの分割払いで実施することの約束等が含まれていた。

## 5 ボゴタ市内における爆弾テロ事件の発生

17日、ボゴタ市内北部のショッピングセンターにおいて、爆テロ弾事件が発生した。フランス人1名を含む3名が死亡した。

18日、安全評議会が開催され、サントス大統領、ナランホ副大統領、ペニャロサ・ボゴタ市長等が参加した。会議終了後、サントス大統領は、犠牲者の遺族に対する連帯の意を表明した。23日、8名の容疑者が逮捕され、ELNの分派であるMRP（人民革命運動）に所属するとされた。

## 6 遊覧船の沈没

25日、アンティオキア県グアタペ市の人口湖において、167人が乗船した遊覧船が沈没した。7名が死亡し、2名が行方不明となった。

## 7 大統領支持率等の発表

29日、ギャラップ社の世論調査が発表され、サントス大統領の支持率は24%（前回5月5日発表の調査では21%）となった。また、政治家の中で最も人気が高い政治家はウリベ前大統領であり、支持率が46%であった。この調査は主要政治家に対して支持の可否を問う形式で行われたもの。

## 8 ELNとの和平交渉第2ラウンドの終了

30日、政府とELNとの和平交渉第2ラウンドが終了した。特に成果はなかった。

## 【外交】

### 1 オルギン外相及びラコトゥール商工観光相の太平洋同盟閣僚会合参加（於：メキシコ）

2日、オルギン外相及びラコトゥール商工観光相は、メキシコで開催された太平洋同盟閣僚会合に参加した。同会合において「決定第1号」が署名された。同決定は、太平洋同盟準加盟国の概要について定めるものであった。またスロベニア、クロアチア及びリトアニアがオブザーバー国となることが承認された。

### 2 オルギン外相及びティモチェンコFARC最高司令官のノルウェー訪問

14～15日、ノルウェーにおいてオルギン外相及び（通称）ティモチェンコFARC最高司令官が紛争問題の専門家によるフォーラムに参加し、コロンビアの和平プロセスに関して説明した。ティモチェンコ最高司令官は、政府によるFARC兵に対する恩赦プロセスの遅延に対する懸念を表明した。

### 3 オルギン外相のアゼルバイジャン訪問

16日、オルギン外相はアゼルバイジャンを訪問し、アリエフ同国大統領と会談した。また、メメディアロフ同国外相とも会談した。同訪問において、オルギン外相は、コロンビアのアグロインダストリーを強化するためのヘーゼルナッツ及びザクロの栽培に関する国際協力の可能性につき協議した。

### 4 サントス大統領のポルトガル訪問中止の発表

18日、サントス大統領は予定していたポルトガル訪問を中止する旨発表した。中止の理由は、ボゴタ市内のショッピングセンターで発生した爆弾テロ事件への対応及びポルトガルで発生した大規模火災への配慮のためとされた。

### 5 サントス大統領のフランス訪問

(1) 21～23日、サントス大統領はフランスを公式訪問した。オルギン外相、カルデナス財務・公債相及びラコトゥール商工観光相が同行した。

(2) 21日、サントス大統領はマクロン・フランス大統領と会談し、フランスによるコロンビアの和平合意実施のための協力の意図表明文書に署名した。フランスによる同協力は2億ユーロのプログラム融資等を通じて行われることとなっている。また、1億5千万ドルの地方向けの融資も計画されている。会談後の記者会見においてサントス大統領は、ポストコンフリクトのためのEU信託基金に対するフランスの支援に謝意を表明した。マクロン大統領は、コロンビアのポストコンフリクトへの支持及びコロンビアのショッピングセンターにおける爆弾テロ事件においてフランス人が死亡したことに対して哀悼の意を表明した。

(3) 22日、サントス大統領は、フィリップ首相と会談し、コロンビアのOECD加盟に関する支持を確認したほか、グリアOECD事務総長とも会談した。

(4) 23日、サントス大統領は、企業家フォーラムに参加したほか、ボコバ・ユネスコ事務局長やイダルゴ・パリ市長とも会談した。また、オルギン外相は、ル・ドリアン外相と会談した。なお、サントス大統領はマクロン大統領とともに、フランス・コロンビア交流年の後半事業（前半にフランスの行事をコロンビアで実施し、後半にコロンビアの行事をフランスで実施）の開始行事に出席した。

#### 6 ビショップ・オーストラリア外相の当国訪問

27日、ビショップ・オーストラリア外相が当国を訪問し、在コロンビア・オーストラリア大使館を開所した。オルギン外相は、ビショップ外相と会談し、ジハ教育相も同席した。同会談においては、二国間会談全般に関して協議された。ビショップ外相は、サントス大統領とも会談した。

#### 7 太平洋同盟閣僚会合及びオブザーバー諸国との閣僚級会合の開催（於：当国カリ）

29日、当国カリにおいて太平洋同盟閣僚会合が開催され、太平洋同盟4カ国の外相及び貿易担当大臣が参加した。また、52カ国のオブザーバー諸国との閣僚級会合が開催された。日本からは、井出国際貿易・経済担当大使が出席した。

#### 8 第12回太平洋同盟サミットの開催（於：当国カリ）

30日、当国カリにおいて第12回太平洋同盟サミットが開催され、チリからコロンビアに議長国が引き継がれた。同サミットには、豪州、カナダ、ニュージーランド及びシンガポールの閣僚も参加した。これらの国は、太平洋同盟準加盟国となるための交渉を開始する国である。

同サミットにおいてカリ宣言が発出された。同宣言には、太平洋同盟の準加盟国という地位を豪、加、NZ及び星に与える為の交渉開始の歓迎、インフラプロジェクト支援のための基金創設の合意、4カ国の年金基金への課税制度の統一化の合意、2017年下半期の第4回太平洋同盟・ASEAN閣僚級会合の実施等が盛り込まれた。